

鹿児島県大隅地域

重点プロジェクト(5) 再造林推進プロジェクト

再造林の推進を図る植栽や下刈り作業の省力化推進の取組

～ドローンによる苗木運搬や機械による下刈り等の技術研修を実施～

現状と課題

森林資源の充実や木材需要の高まりを背景に主伐が増加する中、再造林に必要な苗木の確保や、造林作業者の労働力不足に対応した効率的な作業方法の導入が課題となっている。

取組概要

再造林面積の増加に対応するため、植栽時期を選ばないコンテナ苗の安定供給体制を構築するとともに、植栽や下刈り等の造林作業の省力化や労働強度の軽減を図る作業方法の導入を推進する技術研修会を森林組合、素材生産業者、苗木生産者、行政関係者等へ広く呼びかけて開催している。

苗木等の造林資材の運搬の省力化を図るドローンの活用(写真1)や、植栽作業の省力化を図る動力植え穴掘り機等の活用(写真2)、下刈り作業の省力化を図るバックホウのアタッチメントによる機械下刈り等の技術研修(写真3)に加え、重作業の軽減を図るアシストスーツ等の試着研修(写真4)等を実施している。

取組の成果・効果

再造林に係る省力化推進の技術研修会を実施したことなどにより、各事業体において、ドローンによる苗木運搬の実施や動力植え穴掘り機及びアタッチメント式の下刈り機械の導入等が進められている。これらの取組等により再造林面積は、平成27年度の191ha(再造林率38%)から令和3年度は424ha(同69%)に上昇している。

取組が進んだ要因

造林作業の効率化・省力化は急務であり、各林業事業体とも関心が高い課題となっていることから、プロジェクト推進部会等において現状の作業方法や機械等を導入した場合の課題等について意見交換をしながら、全国各地の先進事例や先行導入した事業体等の情報を収集し、地域の実情に対応した機械や器具等を選定した技術研修を行い、事業体が実際に取り組みやすい機運づくりに努めている。

これから取組む地域へのアドバイス

各種の省力化等に係る機械や器具等は、様々なメーカーや種類・性能があり、各地域の林況や地形等を十分考慮しながら、導入推進を図ることが大切である。

【担当】

大隅地域振興局林務水産課 林務第一係 下田誠司
メール: oosumi-rinsui-rinmu@pref.kagoshima.lg.jp
電話 0994-52-2161
(大隅流域森林・林業活性化センター事務局)



写真1



写真2



写真3



写真4